

神戸観光局

NEWS LETTER

vol.21 (2023.12.7)

CONTENTS

- P.1 「神戸ルミナリエ」4年ぶりに開催
- P.2 「神戸のとびら」冬プログラム発売
- P.2 「カメラと旅する神戸」がスタート
- P.3 ペットツーリズム本格始動
- P.3 「night picnic」大盛況のうちに終了
- P.4 Jリーグ、注目の一戦で神戸観光をPR
- P.4 フェリーで繋がる宮崎「大街市祭」でPR
- P.5 ラグジュアリーホテルのコンシルジュ向けFAMトリップを実施

- P.6 フランスと韓国で旅行博に出展
- P.7 神戸が舞台のドラマロケ地マップ配布中
- P.8 「神戸開催のMICE調査レポート」発表
- P.9 「Techno-Ocean 2023」に7,877名が来場
- P.11 クルーズ客船入港情報
- P.12 神戸港で記念式典や花火イベント実施
- P.13 スマアワ海上航路実証実験を実施
- P.14 第2回「神戸観光LINK CAFE」実施報告
- P.14 神戸観光局DMOのHPがリニューアル



フロントーネ・ガレリア (メリケンパーク)

作品イメージ

「神戸ルミナリエ」4年ぶりに開催！

コロナ禍で過去3年間、代替イベントを実施していた「神戸ルミナリエ」が4年ぶりに開催されます。第29回目となる今回は、開催時期を1月に変更し、新たにメリケンパーク会場も追加。今後の神戸ルミナリエの新しい形を模索するため、さまざまな試みを行います。

- 1 会 期 2024年1月19日(金)～1月28日(日) 10日間
- 2 会 場 ・東遊園地 ・旧外国人居留地(※) ・メリケンパーク
(※旧外国人居留地は三井住友銀行神戸本部ビル前広場を中心に作品を展開)
- 3 点灯時間 薄暮～21:30

「第29回 神戸ルミナリエ」の新たな試み

震災30年の節目を迎える来年度(2024年度)の「第30回神戸ルミナリエ」を新しい形とすることを目指し、第29回の今年度は下記の試みを行います。

■開催時期の変更

「震災の慰霊と鎮魂、復興・再生への夢と希望」というテーマにふさわしい1月下旬へと変更します。

■回遊性の向上(メリケンパーク会場の追加)

例年の会場である旧外国人居留地や東遊園地の他に、新たにメリケンパークにも作品を展開。作品を点在させることにより、来場者に思い思いに巡っていただけるようにします。

■新たな楽しみ方の提供(一部有料)

メリケンパーク内の一部作品は、ゆっくりと鑑賞していただくため入場上限人数を設定した日時指定の特別鑑賞券を販売。継続開催への協力のお願ひもかねて有料とします。ARを取り入れた楽しみ方も合わせて提供。

メリケンパーク会場【特別鑑賞券】

- ・前売券 500円
- ・団体券 400円 ※16人以上が団体券となります。
- ・当日券 1,000円

※特別鑑賞券は全て日時指定となります。17:30～21:30の間(①17:30～18:30 ②18:30～19:30 ③19:30～20:30 ④20:30～21:30)から希望の鑑賞時間帯を選択して特別鑑賞券を購入いただきます。[詳しくはHPをご覧ください。](#)

(↓HP↓)



神戸ならではの体験ができる観光プログラム『神戸のとびら』

神戸観光局オリジナルの冬プログラム12本を発売開始

神戸ならではの特色を活かした着地型観光プログラムを販売するプラットフォーム『神戸のとびら』。この度、神戸観光局主催の冬のプログラム計12本の発売が決定。申込受付はホームページにて順次開始し、12月より催行します。

【プログラムの一例】

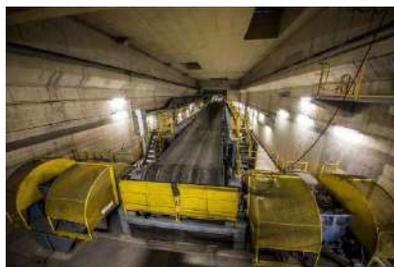
- ・昨年、評判の高かったベルトコンベヤ跡トンネルや湊川隧道等をガイドの解説付きで巡る「産業遺産ツアー」
- ・フジドリームエアラインズ（FDA）チャーター便で瀬戸大橋や瀬戸内の島々を眼下に望む「瀬戸内遊覧フライト」
- ・味噌ダレ餃子発祥の『元祖ぎょうざ苑』で餃子トリビアに触れ、餃子作りから食べ比べまで、餃子ワールドに浸る「満州式餃子作り体験」

各プログラムは準備が整い次第順次発売します。
その他のプログラムや詳細は下記をご覧ください。

<https://kobe-dmo.jp/news/3120/>

神戸観光局オリジナルプログラムは秋冬メニューと合わせて今年度累計27本を開発。今後もさらにプログラム開発を進め、2024年4月迄に計50本を販売する計画です。

◆「神戸のとびら」公式HP：<https://kobe-door.feel-kobe.jp/>



産業遺産ツアー（ベルトコンベヤ跡トンネル）



瀬戸内遊覧フライト（FDA）



満州式餃子作り体験（元祖ぎょうざ苑）

フォトツーリズム事業「カメラと旅する神戸」がスタート

日本最大級のSNS写真コミュニティ「東京カメラ部」とも連携

この秋スタートしたフォトツーリズム事業「カメラと旅する神戸」。11月6日（月）より「東京カメラ部」とタイアップしたフォトコンテストをスタートするとともに、市内フォトスポットを紹介するWEBサイト「カメラと旅する神戸～カメラデビューは神戸で決まり！～」も開設。カメラ旅におすすめのスポットを紹介することで、観光客にもフォトジェニックな場所での写真撮影を楽しんでいただき、SNS上での神戸の魅力的な景色の発信へ繋がります。

フォトコンテスト入賞者には宿泊施設で利用できるクーポン等の賞品を進呈。あわせて『神戸フォトマイスター』に認定します。

また「神戸のとびら」でもフォトツーリズムの一環として、10月28日（土）と12月2日（土）にフォトレスンプログラムを催行。講師にはプロカメラマンChika（木村知佳）さん（4600万もの応募作品から選ぶ「東京カメラ部10選2021」に選出）を迎えました。2024年1月19日（金）開催予定回も含め、今年度計3回開催します。



フォトコンテスト専用サイト



神戸のとびらフォトプログラム

◆フォトコンテスト専用サイト：<https://kobe-camera-trip.tokyocameraclub.com/contest2023>

◆神戸フォトスポットWEBサイト：<https://feel-kobe.jp/kobe-camera-trip/>

◆「カメラと旅する神戸」Instagram：https://www.instagram.com/kobe_camera_trip/

ペットツーリズム本格始動！

「ペットと旅するKOBЕ」特設ページ内のコンテンツをアップデート

2022年よりペット同伴で利用が可能な市内施設を、神戸観光公式サイト「Feel KOBЕ」内で紹介する「ペットと旅するKOBЕ」のサービスを開始。今年11月11日（土）には、より多くの方にペットとの旅を楽しんでいただけるよう、国内最大級の愛犬とのお出かけ情報メディア「お出かけわんこ部」と連携し、特設ページ「ペットと旅するKOBЕ」を開設しました。ペットツーリズム専用Instagramアカウントも合わせて本格始動。今後は市内事業者と連携し、ペットと巡れる観光スポットやモデルコースなどを紹介していきます。

- ・お出かけわんこ部WEBサイト内に「ペットと旅するKOBЕ」特設ページ開設（11/11本格始動）
<https://odekake-wanko-bu.com/kobe-special-page/>
- ・Instagramアカウント「ペットと旅するKOBЕ」立ち上げ（11/11本格始動）
<https://www.instagram.com/pettourismkobe/>
- ・#ペット旅するKOBЕのハッシュタグをSNSで拡散

【内容】

- ・神戸を愛するインフルエンサー（通称ワンバサダー）目線でペットとの旅を発信
- ・新たな滞在プランをスペシャルコンテンツとして公開
- ・ペットと利用できる宿泊施設や観光施設、飲食店の紹介
- ・同伴ルールやマナーも紹介



さらに、ペットとともにオシャレに過ごす神戸ならではの着地型観光コンテンツを、自然などの観光資源、食文化やファッション等を含めたライフスタイルとともに発信していく予定です。

ナイトタイムを盛り上げる「night picnic」が大盛況

“夜の公園を楽しむ”新たなスタイル。神戸らしい夜市を5か月連続で実施

神戸のナイトタイムのさらなる活性化をはじめ、宿泊してくださるお客様を増やすことを目的に、神戸夜市「night picnic」を7月～11月の5か月連続で実施しました。

“夜の公園を楽しむ”をキーワードに、「ジャズ」や「映画」、「ワイン」など、神戸らしい文化を体感できる新しいカタチの夜市を企画。加えて「天体観測」や「子ども屋台」、「影絵あそび」など、子どもも楽しめるコンテンツを実施し、“みんなが楽しめる夜市”として大盛況のうちに終了しました。

今後も、引き続き民間事業者と協働し、ナイトタイムを盛り上げる神戸らしいコンテンツ開発に取り組んでいきます。

【実施概要】

会場：東遊園地（神戸市中央区加納町6-4）

日程	内容
7月15日(土)～17日(月・祝)	ピクニックのための食と音楽
8月19日(土)	公園でクラフトビールとシネマ
9月21日(木)～23日(土)	秋を迎える収穫祭
10月29日(日)	満月を楽しむワインピクニック
11月25日(土)～26日(日)	夜風を楽しむ秋の夕暮れ



注目のヴィッセル神戸vs鹿島アントラーズ戦で神戸観光をPR

東京・国立競技場での試合に5万3,444人が入場！首都圏を中心に多数の来場者

東京・国立競技場で開催された日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）の一戦、「ヴィッセル神戸vs鹿島アントラーズ」で、神戸観光プロモーションを実施しました。

ヴィッセル神戸のリーグ初優勝を占う一戦ということで注目度も高く、ほぼ満員となる5万3,444人が来場！両チームのサポーターのほか、首都圏を中心に幅広い地域からの多くの方が観戦されました。

様々なブースが出展されていた試合開始前のスタジアム周辺は、多くのサポーターで大にぎわい。中でも、神戸観光PRブースは神戸セレクション認定商品等が当たる抽選会を実施していたこともあり、長蛇の列ができるほどの盛況ぶり。多くの来場者に神戸旅の魅力をお届けすることができました。

【実施概要】開催日時：10月21日(土)

会場：国立競技場(東京都新宿区)

内容：神戸観光の魅力について、観光PRブースを出展し情報発信

来場者数：5万3,444人



フェリーでつながる街・宮崎「大街市祭」でプロモーション

サンバチームによるパフォーマンスや灘の酒飲み比べなどを実施

宮崎市中心市街地で開催される「大街市祭」は、約4万人が来場するイベント。神戸観光局では、神戸と宮崎を結ぶ宮崎カーフェリーの新船「ろっこう」の就航に合わせて昨年度から参加しています。

宮崎カーフェリーは「県民フェリー」と呼ばれるほど親しまれており、「神戸と結ばれている」ことも多くの県民が認知。当日は宮崎カーフェリー株式会社と共同で観光PRブースを出展し、宮崎-神戸航路および神戸の観光情報を発信しました。

ブースでは、神戸観光局から日本酒を、宮崎カーフェリーでは宮崎の焼酎を用意し、試飲会を実施。神戸市のふるさと納税返礼品にもなっている「福寿 純米大吟醸」など、灘の酒4種類を振る舞い、それぞれの風味を味わっていただきました。また、国際色豊かな神戸らしさをPRすべく神戸から派遣したサンバチームは、圧巻のパフォーマンスで会場を大いに盛り上げ、「フェリーでつながる街・神戸」について多くの方に興味を持っていただくことができました。

【実施概要】開催日時：10月28日(土)

会場：宮崎県宮崎市

内容：①神戸観光PRブースの出展（宮崎カーフェリー(株)との共同出展）
②神戸の日本酒と宮崎の焼酎飲み比べ試飲会
③サンバチームの派遣（イベント会場でのパフォーマンスを実施）



神戸からのサンバチームで会場は大盛り上がり



「灘の酒」の味を多くの方が体感



多くの宮崎県民に神戸の魅力を届けました

ラグジュアリーホテルのコンシェルジュにFAMトリップを実施

インバウンドの富裕層宿泊者が多い大阪・京都のラグジュアリーホテルからコンシェルジュを招き、神戸の観光視察ツアーを行いました。インバウンドのお客様は旅ナカにコンシェルジュデスクを利用することが多いことから、案内の際に神戸のコンテンツをご紹介いただけるよう、より深く知っていただく機会を作りました。

FAMトリップの内容：欧米からの富裕層に興味を持たれるコンテンツを深掘りして紹介

コンテンツキーワード：自然、歴史を学ぶ、食

■「都心で自然を感じる」

登山用品の貸出や荷物預かりを行うトレイルステーション神戸（新神戸駅1階にオープン）を紹介。その後、駅から徒歩15分で行くことができる「日本三大神滝」のひとつ「布引の滝」までハイキング。「自然を気軽に楽しめ、かつストーリーとともに紹介できる名所」として案内しやすいと喜ばれました。



布引の滝

■「日本の匠」

竹中大工道具館で宮大工の技術を学べることを紹介。京都・奈良などの寺社仏閣を訪れる前の事前学習の場として訪問を勧めやすいと評価されました。



竹中大工道具館：館長の説明

■「世界No1! 神戸ビーフ」

コンシェルジュが一番質問を受けるのは「食」に関する事で、特に神戸ビーフが食べられるレストランについての問い合わせが多数。富裕層は「その土地で食す」ことや歴史などに関心を持つと言われるため、神戸ビーフとして認定される仕組みや育て方の特徴などを紹介。シェフ自らが英語で紹介しつつ、鉄板焼きパフォーマンスをしていく流れが好評でした。



神戸牛レストラン：神戸石田屋

■「生産量世界No1の酒処と匠の技」

菊正宗酒造記念館にて日本酒の試飲・酒樽作りを見学し、京都の伏見酒との違いも説明。釘やボンドを一切使わず一滴のお酒も漏らさない樽作りの匠の技術に感動されました。



菊正宗酒造記念館：館長の説明

■「北野エリア／安藤建築」

北野エリアの散策、北野異人館街にあるスターバックス、安藤忠雄氏の建築等を紹介。欧米では安藤建築も人気のため、同氏の建築物が密集する北野エリアは、アピールしやすいとの反応でした。

【参加したコンシェルジュのアンケートより】

- ・「神戸に遊びにきたことはあったが、しっかりとした観光をしたことがなかったため、（今後役に立つ）学びが多かった」
- ・「自然、歴史、食を組み合わせた構成がとても良かった」
- ・「神戸ビーフにはビールが合うとっていて、日本酒の相性が良いと知らなかった。今後お客様に提案しやすくなる」



ツアー終了後には意見交換会も開催。今回のツアー行程を参考に、現場でスムーズに案内していただける「神戸虎の巻」も作成します。ゴールドルートである京都・大阪などの近隣都市からの誘客を目指し、今後もコンシェルジュ向けのFAMトリップを実施していく予定です。

にしむら珈琲中山手本店では、灘の名水「宮水」で淹れるブレンドコーヒーを味わっていただきました

インバウンドプロモーションを仏・韓で実施

日本に関心度の高いフランス、訪日旅行ブーム到来の韓国で旅行博に出展

フランス・パリで「IMTF Top Resa 2023」と「Salon du Sake」でPR
ストーリーのあるツアープログラムの造成などが今後の課題

①欧州最大級のB to B 旅行商談会「IMTF Top Resa 2023」に出展

10月3～5日に開催。約40社と商談を行ったところ、フランス市場で関心が高い「神戸ビーフ」「酒」「柔道」（柔道の父と呼ばれる嘉納治五郎の出身地）などの内容に好反応でした。

食やスポーツなど、テーマ性のある内容を求める旅行会社が多いため、背景や歴史がわかるストーリーあるプログラムを作れば、ゴールドルートが主流であっても、プラスワントリップの目的地として取り込んでいける可能性があることも掴めました。



②日本酒専門の展示会「Salon du Sake」でセミナー＆PR実施

フランスでは日本酒の市場が既に成熟しており「〇〇(地名)の日本酒」という単体のPRでは弱いため、今後は近接県と連携した酒米ツアーなど、「日本酒+1」でストーリーを訴求していく必要があることが見えてきました。

またフランスは、日本食レストランが欧州の中で群を抜いて多く、日本製品を扱うアンテナショップや日本文化等を紹介する場も多数あるため、そのような場所を活用した多面的なPR展開も効果が見込めそうです。



③旅行会社セールスでは

- ・顧客層に合わせたお勧めの神戸ビーフレ스토랑、ホテル・旅館等の具体的な情報の要求が多かった。
- ・10日間程度で日本国内を旅行するスタイルを取る欧州には、瀬戸内周遊や兵庫県内周遊など、近隣地域を組み合わせた提案が響いた。

韓国・ソウルで新設のB to C旅行博覧会 「Travel Show 2023」に出展

10月13～15日に開催された「Travel Show 2023」に参加。暮らしや生活に関わる大規模展示会「Mega Show」の旅行部門が旅行需要の増加に伴い独立した博覧会です。今回が初開催でしたが、会場は初日から大盛況。特に日本ゾーンでは客足が絶えず、コロナ後の訪日旅行ブームを感じました。

韓国では欧米に比べて神戸の認知度も比較的高く、ツアーやFITなどで代表的な観光地へ訪問した経験のある人が多くいたため、会場では、最新スポットをメインに、リピーター向けの情報を紹介していきました。

来場者の大半が若年層ということもあり、SNS映えするスポット、神戸のカフェ文化や新たなグルメ情報に興味を示されました。IT・デジタル大国の韓国では、気軽な情報収集手段として、スマホで見られるWEBパンフレットやSNSが好評だったことも特徴でした。



神戸観光局では、今後も現地PRで得た最新の旅行者ニーズ等を踏まえ、誘客を進めて参ります。

神戸ロケ地マップ配布中！

ABCテレビ制作ドラマ「たとえあなたを忘れても」

10月22日（日）より始まった恋愛ドラマ「たとえあなたを忘れても」。神戸の美しい映像とともに、堀田真由さんと萩原利久さんによって繰り広げられる切ないストーリーです。撮影では多くの市内施設に協力をいただきました。このたび、それらをめぐる神戸ロケ地マップを作成。市内各所ほか、東京のテレアサショップ（東京駅、六本木）で配布しています。ドラマの公式サイトやフィルムオフィスHPでもWeb版を掲載中。



★主なロケ地マップ配布場所★

- ・神戸市総合インフォメーションセンター、東灘区役所、灘区役所、御影公会堂、こべっこランド、山陽電鉄主要駅、六甲ライナー主要駅ほか

★Webでも掲載中★

- ・神戸フィルムオフィスHP：<https://www.kobefilm.jp/>
- ・ドラマ公式HP：<https://www.asahi.co.jp/anawasu/>

- ◆ABCテレビ制作ドラマ「たとえあなたを忘れても」（テレビ朝日系全国ネット）
毎週日曜より10時より放送（最終話：12月17日予定）
放送終了後、TVerで見逃し配信

Netflixドラマ『幽☆遊☆白書』12月14日(木)より全世界配信

1990年台に『週刊少年ジャンプ』で連載された大ヒット漫画『幽☆遊☆白書』が、実写ドラマ化されNetflixで全世界配信されます。

神戸では、神戸フルーツフラワーパークやポートアイランドなど複数の場所で撮影が行われました。アクションやドローンを使用した迫力ある映像となっていますので、漫画・アニメを知っている方も知らない方も楽しめる作品です。



◆Netflix『幽☆遊☆白書』

- ・原作：富樫義博『幽☆遊☆白書』（ジャンプ・コミックス刊）
- ・監督：月川翔
- ・出演：北村匠海、志尊淳、本郷奏多、上杉柊平、白石聖、見上愛ほか
- ・ロケ地：神戸フルーツフラワーパーク、ポートアイランド、ベルトコンベヤトンネル、布引トンネル再度避難坑
- ・HP：<https://www.netflix.com/jp/title/81243969>

◆撮影隊への市内の関連事業者紹介登録制度

神戸フィルムオフィスでは、撮影に必要な事業者を映像作品制作者に紹介しています。登録は無料で、ホームページや冊子等で事業者情報をお知らせ。ご希望の際はHPの問い合わせフォームよりご連絡ください。（<https://www.kobefilm.jp/contact/>）

【登録業種（抜粋）】

「照明機材」「美術内装・外装」「重機レンタル」「写真家・写真事務所」「ムービーカメラマン派遣」「通訳/方言指導（神戸弁）」「メイク・スタイリスト」「俳優・タレント・モデル・エキストラ」「駐車場」「撮影スタジオ」「編集・MAスタジオ」「音楽制作」「空撮用ヘリコプター・航空撮影」「警備」「ドローン撮影」「暗幕、合成幕一式」「現場用品各種レンタル」「ロケバス」「レンタカー」「貸切大型バス、中型バス」「マイクロバス（運転手あり）」「弁当・ケータリング」等

【紹介ホームページ】 <https://www.kobefilm.jp/production/#affiliatedCompany>



神戸フィルムオフィスでは、
映画やドラマのロケ地となる施設等の情報を随時募集しています

ご存じの撮影可能な場所の情報をぜひお寄せください。また、撮影や作業に使用できる「倉庫」や、「大型トラックを駐車できる空き地」など、心当たりがありましたら、ご連絡いただけると幸いです。皆さまからのご提案をお待ちしています。神戸への映像誘致にご支援をお願いいたします。

（お問合せ）TEL 078-262-1261 / HP <https://www.kobefilm.jp/contact/>

「神戸で開催されたMICEに関する調査レポート」を発表

6年間で収集した約1万7,000件のデータを用いて市内MICEの開催状況を分析

神戸観光局・神戸コンベンションビューローでは、神戸市内のMICE開催状況を把握するため、2017年より市内28施設の協力を得て調査を開始。6年間で約1万7,000件のデータを収集することができました。

神戸市が観光庁の「グローバルMICE都市※」に選定された10年目の今年、収集したデータを用いてコロナ禍前後の市内MICEの開催状況を分析。神戸MICEの特徴とその重要性について調査レポートを作成しました。結果は関係者へ共有し、今後の神戸MICE誘致に活用して参ります。

※日本のMICE誘致競争を牽引することができる実力ある都市を育成するため、観光庁が2013年に「グローバルMICE都市」を7都市選定し、MICE誘致力向上のための支援事業を実施。現在は12都市に拡大

【調査方法】

調査期間：2017年4月～2023年3月（6年間）、毎月末にアンケート調査を実施

対象施設：市内MICE施設 28箇所（公共施設7箇所、ホテル11箇所、その他10箇所）

【ポイント】

- ・ 上記調査で収集した1万7,166件のデータを用いて、傾向を分析
- ・ MICEの中でも特に、I(インセティブ旅行)とM(企業ミーティング)は実態の把握が難しく、全国でもまとまった統計データがない
- ・ 神戸は約40年にわたる市内施設やMICE関連事業者・団体との信頼関係がありデータ収集ができた
- ・ 神戸市が1982年に日本初の「コンベンション都市宣言」を行い、全国に先駆けてコンベンション誘致・開催支援に力を入れてから約40年が経過

【調査結果ハイライト】

- ① 開催件数の推移：神戸市で年間約4,000件のMICEが開催されている
- ② 参加者数の推移：コロナ禍前は年間平均で130万人以上が神戸市を訪れていた
- ③ 開催曜日の傾向：観光のピークを外す時期にMICEが開催、特に平日が多い
- ④ M/I/C/E別大型MICEの開催件数と期間：C（コンベンション）が最も件数が多く、開催期間も長い
- ⑤ 大型コンベンションの現地参加率：コロナ禍中の1～2割から約7割まで回復

その他、開催時期の傾向やM/I/C/E別開催件数と割合、参加者数と割合などを含めて8つの内容について傾向を分析しました。

調査レポートの内容は、下記から確認できます。

<https://kobe-convention.jp/ja/news/8180/>



今後開催予定の大型・国際MICE（12月～2024年3月）

参加者7,000人～1万4,000人の大型学会が市内で3件開催予定です。

- ・ 12月6日（水）～8日（金）日本分子生物学会年会／神戸国際会議場・展示場
- ・ 2月24日（土）～25日（日）第38回日本がん看護学会学術集会／神戸国際会議場・展示場
- ・ 3月8日（木）～10日（日）第88回日本循環器学会学術集会／神戸国際会議場・展示場

国内唯一の国際海洋科学技術コンベンション「Techno-Ocean 2023」は19回目 世界16カ国を超える国・地域から産学官関係者7,877名が来場

産学官関係者が一堂に会し、幅広い分野をまたいで、人・もの・情報をつなぐ場を創出する海洋科学技術に関する総合展示会「Techno-Ocean」。海洋科学技術・海洋産業発展への寄与のほか、一般への海洋への理解促進を目的として1986年より隔年開催されています。10月には第19回目となる「Techno-Ocean 2023」が行われました。

【開催概要】

催事名：Techno-Ocean 2023

実施事業：展示会、シンポジウム（基調講演、パネルセッション）、水中ロボット競技会、海のSTEAM授業、船内見学会

主催：テクノオーシャン・ネットワーク（事務局：神戸観光局）

会長：経団連海洋開発推進委員会委員長 満岡次郎 / （株）IHI代表取締役会長

URL：<https://www.techno-ocean.com/>



【参加者は】

- ・世界16カ国・地域、43都道府県から7,877名が参加
- ・約78%は兵庫県外から参加
- ・準備期間を含めると市内に最長5日間宿泊

【神戸観光局が事務局を担う理由とは】

神戸観光局では、テクノオーシャン・ネットワーク（以下：TON）が設立された2000年より事務局を担当。MICE誘致のほか、主催者・参加者のニーズや課題の把握、業界トレンド情報収集やノウハウ構築を行い、MICE開催支援の向上も図っています。神戸観光局が担当することで、専門知識を持った担当者が長く、TONの活動を同じ目線で、中立的な立場で支えることができます。また産学官の海洋関係者をつなぐことで、港湾都市・神戸の発展に寄与しています。



初日のテープカットには久元喜造神戸市長ほか、国や企業の海洋関連のキーパーソンが参加

産学官の第一人者による最新トピックスをテーマにしたパネルセッション

CO2削減、生態系の保護、プラスチック問題、気候変動、水産資源保護、エネルギー問題、災害など私たちの身近な課題に大きく関わっている「海」。今回は国内外の著名人による基調講演に続き、「海のSDGs」をテーマに6つの最新トピックスについてパネルセッションを企画。産学官の第一人者による最新知見の共有、さらには課題や展望について参加者を交えた意見交換が行われました。

その一つ、「洋上風力発電事業」はカーボンニュートラル社会の切り札となる世界的にも注目の産業。大きなビジネスチャンスが見込める分野のため、会場は満席に。各セッション終了後、登壇者と参加者の名刺交換の機会なども設けました。



松村祥史 内閣府特命担当大臣(海洋政策)による祝辞(ビデオメッセージ)



基調講演の様子



パネルセッションの様子

展示会では初の航空関連事業者が参加 特別展示「うみとそらをつなぐ」を実施

展示会場入り口には、KDDIスマートドローン(株)の「空を飛び、海に潜ることのできる世界初の水空合体ドローン」と、地元神戸の新明和工業(株)の「水上での離発着が可能な固定翼無人飛行艇 XU-M」の実機を展示。遠隔での海中観測や撮影など、資源やエネルギー・安全保障・人口減少など海の課題解決に今後益々重要な役割を果たす「新たな技術のカタチ」が来場者の目を引きました。



水空合体ドローン



固定翼無人飛行艇 XU-M

多岐にわたる分野が出展。「つながる場」を創出

展示会は約20分野、90社・団体が出展。企業のほか、大学・研究機関、官公庁なども参加し、産学官が相互につながる場に。初企画の特別セミナーでは、海外を含む注目企業、省庁、独立行政法人、国立研究開発法人に「ここでしか聴けない話」をしていただき、立ち見が出るほど好評でした。

出展者からは「探していた共同研究開発のパートナーが見つかった」「有意義な情報交換ができた」「商談成立が過去最高額となった」などの感想が寄せられました。

おもな出展分野／「再生可能エネルギー」「調査・観測・計測」
「通信・IT」「港湾・海洋土木」「水産」「環境・気象」「船舶・船用機器」
「SDGs」「水中ロボット」「海運」「環境保全」など



展示会の様子

次世代人材の育成事業として、展示会見学や水中ロボット競技会を実施

海洋人材育成を目的に実施する、学生の展示会参加や水中ロボット競技会の開催。今年は県立神戸高校1年生の学生40名、神戸市立工業高等専門学校（科高）の学生160名が授業の一環として参加。熱心にブースを見学、出展者に質問するなど、海洋問題に関心を寄せる学生もいました。

昨今、人手不足解消や過酷な環境下での作業に対応するため、海洋産業分野での水中ロボットの需要が高まっており、機器開発と同時に操作者のスキルアップも重要視されています。「水中ロボット競技会」では、全国の高校・高専・大学生計28チーム、100名を超える学生が自作の水中ロボットを持ち寄り、機体と操作技術を競う熱戦が繰り広げられました。

過去の「Techno-Ocean」がきっかけの一つとなり、水中ロボットの先生が神戸高専に着任されたことから、神戸チームが初参戦！高専から2チームが初出場するという、大変意義深い大会となりました。



出展者に熱心に質問する学生



水中ロボット競技会

一般向けイベントで、海洋の魅力を広く発信

一般の方の「海」に対する理解促進の一助として、神戸市主催の船内見学会のほか、特別ツアーやイベントも企画。「Techno-Ocean」展示会見学を含めた企画で、幅広い方々に「海のせかい」に触れていただく機会をつくりました。

- ・国内初となる海上保安庁の新型測量船「平洋」の船内見学会（神戸市主催）
- ・神戸大学所有「海神丸」の一般公開（神戸市主催）
- ・神戸ならではの特別体験プログラムを提供する「神戸のとびら」内で「Techno-Ocean」を含めた「海を知るバスツアー」を企画（神戸観光局主催）
- ・「ポーアイ・六アイライナーウォーク」事業と連携し、「Techno-Ocean」を含めたフリーウォークを開催（神戸新交通主催）



船の一般公開 海上保安庁測量船「平洋」見学の様子

さらに、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、市教育委員会の協力により、文科省が推進する注目の教育方法「STEAM授業」を事前申し込みのあった市内小学生対象に実施。JAMSTEC所有の神戸生まれの有人潜水調査船「しんかい6500」の調査活動を通じて、「海の世界」について勉強しました。深海の撮影映像や写真の閲覧、元パイロットへのインタビュー、水圧実験デモを通して、「本物に触れる大切さ」「新たな教育方法」を体験。海の問題について一人ひとりができることを考えてもらう機会にもなりました。



国内外からクルーズ客船が入港

この冬もクルーズ客船が入港 神戸港の夜景を美しく彩ります

空気が澄んで夜の時間も長い冬は、夜景がより美しく見えるシーズン。クルーズ客船が停泊する夜の神戸港は、客船の明かりも灯り、より魅力的な夜景をお楽しみいただけます。

12月は「MSCベリッシマ」「パシフィック・ワールド」「にっぽん丸」と、国内外のクルーズ客船が入港を予定しています。スケジュールをチェックして、冬の「みなとまち神戸」で客船のある風景をお楽しみください。



神戸大橋とクルーズ客船
(撮影場所/ポートアイランド 北公園)

クルーズ客船入港予定 (12月)

船名	総トン数	バース	入港		出港		前港	次港
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	12月4日(月)	11:00	12月4日(月)	21:00	博多	二見
PACIFIC WORLD	77,441	S-4Q1/Q2	12月5日(火)	7:00	12月5日(火)	13:00	香港	横浜
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	12月9日(土)	9:00	12月9日(土)	17:00	二見	名古屋
PACIFIC WORLD	77,441	S-4Q1/Q2	12月12日(火)	18:00	12月13日(水)	12:00	横浜	横浜
MSC BELLISSIMA	171,598	S-4Q1/Q2	12月22日(金)	14:00	12月22日(金)	23:59	横浜	那覇
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	12月22日(金)	17:30	12月22日(金)	20:00	横浜	別府
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	12月25日(月)	13:30	12月25日(月)	14:30	別府	横浜

神戸ポートターミナル：S-4Q1/Q2 中突堤旅客ターミナル：NAKA-BC

※スケジュール・バース・イベント等は予告なく変更・追加されることがありますのでご注意ください。

※神戸港へのクルーズ客船の入港予定や歓送迎イベント予定は「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/schedule/index2020.html>

クルーズ豆知識 ～クルーズ客船のクラス分け～

現在、世界には約300隻ものクルーズ客船が就航しています。クルーズは、船内では食事や宿泊など長い時間を過ごすため、好みに合った客船を選ぶ事がポイント。ホテルにもランクがありますが、クルーズ客船も船の大きさや乗客定員、乗組員数、基本料金等の項目によって大きく3つのクラスに分類されています。その各クラスの特徴について簡単にご紹介します。

■カジュアル (スタンダード) クラス

- ・リーズナブル ・大型船でレストランやプールなどのエンターテイメント施設が充実
- ・子供向けサービスも充実し、家族連れで楽しめる方が多い
- ・総トン数 5～20万ト、クルー1人あたりの乗客数 2.5～3.5人、客室の広さ 10㎡以上
例) SPECTRUM OF THE SEAS、MSC BELLISSIMA、NORWEGIAN JEWEL など

■プレミアムクラス

- ・代金はやや高め ・様々な施設が充実し、落ち着いた雰囲気です過ごすことができる
- ・1航海が長めのクルーズも多く、ゆったりとした時間を楽しむことができる
- ・総トン数 4～12万ト、クルー1人あたりの乗客数 1.5～2.5人、客室の広さ 15㎡以上
例) DIAMOND PRINCESS、CELEBRITY MILLENNIUM、WESTERDAM など

■ラグジュアリークラス

- ・一般的に「豪華客船」と言われる ・高級食材を多用した食事や、少人数で手厚く細やかなサービスが受けられる ・代金は高額であるが、極上のクルーズを堪能できる
- ・総トン数 1～5万ト、クルー1人あたりの乗客数 1～1.5人、客室の広さ 25㎡以上
例) SEVEN SEAS EXPLORER、SILVER MUSE など

就航中の日本船のクラス 飛鳥Ⅱ/ラグジュアリー にっぽん丸/プレミアム～ラグジュアリー

神戸港にて記念式典や花火イベントを開催

ジャンボフェリー「あおい」就航1周年記念式典をサポート

神戸と小豆島・高松を結ぶジャンボフェリーは、昨年10月に就航した新船「あおい」の就航1周年記念式典を10月28日（土）7：30から同船内2階の車両甲板にて執り行いました。

記念式典では、未来を担う子どもたちの中から「一日船長」が任命され、任命証と花束が授与されました。ジャンボフェリー(株) 山神代表取締役社長はスピーチの中で就航からの一年間を振り返り、「大勢の方にご利用いただき、船旅のすばらしさを体感していただけた。これからも安心安全を第一に運航し、愛される船であり続けたい」と述べられました。

従来船から約1.4倍に大型化され、輸送力強化のほか足湯や多彩な客室が用意され魅力が向上したジャンボフェリー「あおい」。観光面はもちろん、物流面でも神戸港と四国間における貨物輸送に大きく貢献しています。就航2年目を迎えるこれからの活躍にも期待が高まります。



ジャンボフェリー「あおい」



「一日船長」を囲む記念撮影

分散型花火イベント「みなとHANABI-2023-」に昨年比1.5倍の7万8000人が来場

秋シーズンの平日に分散開催となった「みなとHANABI-2023-神戸を彩る5日間」。10月16日（月）～20日（金）に開催され、5日間累計で昨年の約1.5倍にあたる7万8,000人の観客が来場しました。

今年はJAZZ100周年に合わせ、音楽ステージでもジャズ演奏をし、神戸らしさが詰まった秋の夜に。神戸観光局 港湾振興部公式SNSには、「心に残る10分だった」「涼しい風に吹かれて心地いい音楽を聴きながら素敵な時間を過ごせました」等の温かいコメントをいただきました。

- ・ 毎日18：30から約10分間
- ・ 約700発の花火を打ち上げ
- ・ 花火とシンクロして流れる楽曲は1日3曲、5日間で15曲。一般募集により選出されたものを使用
- ・ 主催/こうべみなとの夜実行委員会（神戸市、神戸観光局、神戸新聞社、神戸商工会議所、神戸海事広報協会、ラジオ関西、サンテレビ）



花火とメリケンパークに集まった観客



メリケンパーク内ステージで行われたジャズ演奏

須磨と淡路を船で結ぶ「スマアワ」海上航路実証実験を実施

昨年に引き続きサイクリストをターゲットに！

昨年に引き続き、須磨と淡路を結ぶ新航路「スマアワ」の海上実証実験を10月に行いました。今年度は規模を拡大し、6日間各日2往復（昨年度は3日間各日1往復）の運航に変更。寄港先は「あわじ交流の翼港」に加えて、今年は旅客船の寄港が21年ぶりとなる「津名港」にも就航し、新聞等でも取り上げていただきました。2年連続で参加者の満足度も非常に高かったため、引き続き来年度の実施に向けて検討していきます。

【本事業の目的】

観光資源としてより活用していくため再整備中の「須磨海岸エリア」と、新たな観光スポットの開業などにより話題性が高まる淡路市を結ぶことによって、両地域の魅力アップを目指しています。本事業がサイクリストの移動手段になり得るのか、また民間事業者による事業化の可能性や課題について検証を行い、「サイクリング」を観光資源活用につなげていきます。

【総乗船者数】

約500名（うち約140名が自転車持ち込み）

【アンケート結果】

「スマアワの利用評価」⇒とても満足・満足と回答した方が96%

「須磨の魅力向上につながると思うか」⇒とても思う・思うと回答した方が88%



須磨岸壁の様子



自転車積み込みの様子



津名港で行われた歓迎の太鼓演奏



サイクリングを楽しむ人々

【開催概要】

- ・ 運航日 令和5年10月21日(土)22日(日)23日(月) …あわじ交流の翼港
10月28日(土)29日(日)30日(月) …津名港
- ・ 募集定員 : 1便あたり150名（うち自転車持込50名）
- ・ 乗船料 : 大人:1500円、小学生:500円、自転車持込料:500円
- ・ 使用船舶 : bohboh KOBE号
- ・ 主催 : 神戸市港湾局、淡路市、神戸観光局
- ・ 協力 : 淡路島観光協会

第2回「神戸観光LINK CAFE」を開催しました

モダン建築の魅力や安藤建築について解説。懇親会ではチラシ設置で交流促進

11月13日（月）に、ホテルオークラ神戸にて第2回「神戸観光LINK CAFE」を開催しました。80名の方にご参加いただき、講演後には飲食を伴った懇親会も実施。多くの交流が図られました。

第一部では、今年初開催の「神戸モダン建築祭」を前に、実行委員である建築史家・笠原一人先生に、神戸の建築がなぜ面白いのか、その特徴と貴重性について教えていただきました。

懇親会では初の試みとして、参加企業のチラシコーナーを会場内に設置。多くの企業にお申込みいただき「チラシをきっかけに交流がしやすかった」などの感想もいただきました。

観光関連事業者間の交流の場として、また神戸観光全体の底上げを目的に開催している「神戸観光LINK CAFE」。今年度は「神戸の深堀」をテーマにセミナーを開催し、参加者アンケートでは「満足度が高い」と評価いただいております。次回は来年2月に開催予定。皆様に役立つ内容・交流促進を企画しておりますので、奮ってご参加ください。メールやチラシでお知らせします。



神戸観光局DMOホームページがリニューアル！

神戸観光局会員の皆様からのお知らせを募集します

神戸観光局は、来る12月20日にDMO設立6周年を迎えます。これを機に、DMOホームページをリニューアルすることとなりました。より分かりやすいホームページを目指して、デザインや掲載内容を刷新。トップページに神戸観光に関するマーケティングデータの抜粋を掲載するほか、四半期ごとに神戸観光局の活動や観光、MICEに関する動向などをまとめたニュースレターや、神戸観光局会員の皆様の交流の場として企画する神戸観光LINK CAFEの開催情報も、随時更新いたします。

また、会員の皆様からのお知らせにつきましては、会員専用ページのみならず、オープンページでの掲載をスタートいたします。掲載をご希望の場合は、以下の要項をご確認いただきご応募ください。ぜひ、貴社広報ツールの一つとして、神戸観光局DMOホームページをご活用いただければと思います。

- 神戸観光局DMOホームページ <https://kobe-dmo.jp/>
- 会員専用ページのパスワードは変更ありません（ご不明の場合は下記担当者までお問い合わせ下さい）
- 会員からのお知らせ募集について

以下の①～④をご記載のうえ、(kobe-member@kcva.or.jp)までメールにてお送りください。

- ①貴社名 ②ご連絡先お電話番号 ③ご担当者氏名 ④掲載希望内容テキスト（プレスリリース等のPDFデータでも結構です）⑤掲載希望ページ（会員専用ページorオープンページ、もしくはその両方）
- ※内容によっては掲載をお断りする場合もあり得ますので、予めご了承ください。

- 本件についてのお問い合わせは以下までお願いします。
経営推進部総務課 大野・前田（TEL:078-230-0800）

